

令和5年（2023年）6月5日

報道機関各位

横須賀市デジタル・ガバメント推進担当部長

## ChatGPTの全庁的な活用実証の結果報告と今後の展開 ～生成AI開国の地 横須賀から描くAIの未来～

横須賀市では、令和5年4月20日から、ChatGPTの全庁的な活用実証を行い、この度その結果報告がまとまりました。

この結果を踏まえて、ChatGPTを本格実装するとともに、新たにTHE GUILD代表、note株式会社CXOの「深津貴之」氏をAI戦略アドバイザーに迎え、更なる職員のスキルアップや、生成AIの新たな活用に向け、取り組んでいきます。

それと並行して、市役所内でのプロンプト※コンテストの実施や、この1か月間の実証で横須賀市が蓄積したノウハウを、他の自治体にも積極的に提供するなど、取り組みを更に推進することで、自治体における生成AIの適切な活用促進、市民サービスの向上を目指していきます。

※プロンプト…ChatGPTなどの生成AIに対して行う質問や指示

### 1. ChatGPT活用実証結果報告のポイント（詳細別添のとおり）

#### 【ポジティブな点】

- ・約半数の職員が実際に活用した
- ・最終アンケート回答者のうち約8割の職員が「仕事の効率が上がる」「利用を継続したい」と回答
- ・利用者ヒアリングの結果、業務短縮効果が認められた

#### 【ネガティブな点（最終アンケート結果より）】

- ・ChatGPTの利用用途に向かない「検索用途」での利用が約3割見られた
- ・常に適切な答えがくるわけではない（6%程度の職員が、概ね不適切な回答が返ってくると回答）

⇒活用実証の結果、多くの職員が活用し、業務効率向上の実感や、継続利用の意向が高い一方で、ChatGPTへの質問や指示の仕方や、利用方法に課題があることが分かりました。本格実装をしながら、今後の取り組みの中で、この課題の解決を図っていきます。

## 2. 今後の展開

### (1) 横須賀市A I戦略アドバイザーを配置します（6月）

ChatGPTを含めたA I技術は急速に進化し、社会も急速に変化しています。そこで、横須賀市は、この分野の第一線で活躍する「深津貴之」氏をA I戦略アドバイザーとして迎えることで、この変化に適応し、より適切なA Iの活用を推進していきます。

#### 【深津貴之氏職位】

- ・THE GUILD 代表
- ・note 株式会社 CXO
- ・Stability AI Japan アドバイザー

※深津氏は横須賀市出身

#### 【審査員経歴】

- ・Yahoo! Japan  
クリエイティブアワード  
(H24～H25)
- ・グッドデザイン賞  
(H29～H30)



### (2) 職員の更なるスキルアップを図ります（6月～7月頃予定）

A I戦略アドバイザーの監修による、横須賀オリジナルの「(仮称)GPT活用スキル強化プログラム」を導入し、職員の更なる活用スキル向上を図っていきます。

### (3) 市役所内プロンプトコンテストを実施します（8月予定）

GPTスキル強化プログラム実施後に、市役所内での新たな活用事例を掘り起こし、横展開していくため、職員を対象としたプロンプトコンテストを実施します。

### (4) ChatGPT-4を導入します

現在、横須賀市ではChat-GPT3.5-turboを使っていますが、より高度な文章生成や対話の能力がある、ChatGPT-4を導入するための準備を進めます。

### (5) 横須賀市のノウハウを積極的に他自治体に伝えていきます

4月20日に活用実証を始めて以降、60を超える自治体からの問い合わせを頂いています。現在講演会等でも、横須賀市が蓄積した情報は積極的に公開していますが、より深くその本質をお伝えするため、導入から活用までのノウハウをパッケージ化し、横須賀市という「生成A I開国の地」において、他自治体への研修を企画していきます。

#### 事務担当

経営企画部 デジタル・ガバメント推進室 寒川  
直通 046-822-8130 内線 6013